

議 長	会議を再開致します。 (午後 3 時 0 9 分)
々	続いて、圓山議員の一般質問を行います。8 番圓山議員。
8 番 圓山議員	通告順に従いまして一般質問致します。質問の要旨、伝統芸能と行政のかかわりを尋ねる、ものであります。地域の活性化、それを支える地域の力、いろんな意味で貢献されているこの伝統芸能。また私も出来る範囲では手伝わさせていただいておりますが、最近、頓にその郷土芸能が歓迎であったり、おもてなしであったり、いろんな町の顔として動いておられるような感じも致します。それに対して或る意味、自治会の関与もありますが、そういうものに対してお尋ねを致したい。以上
議 長	それでは、圓山議員の質問、「伝統芸能と行政のかかわりを尋ねる」に対する、答弁をお願い致します。 番外森川総務財政課長。
番外森川総 務財政課長	<p>それでは、圓山議員の「伝統芸能と行政のかかわりを尋ねる」のご質問についてお答えを致します。</p> <p>議員が仰るとおり、伝統芸能の存続につきましては、地域の皆様のご協力によりその存続が図られているものと考えておりますし、伝統芸能の継承は今後も重要な課題であるというふうに考えております。</p> <p>議員の通告書の中にありますように、そういった活動に対して自治会の関与があり、その自治会が任意団体なのか、また、行政の指示による活動組織かを確認したいという事で通告書にございますが、自治会は、川本町内の一定の区域に住所を有する人たちの地縁に基づいて形成された団体で、その地域の住民相互の連絡、環境の整備など、良好な地域社会の維持及び形成のために地域的な協働活動を行うことを目的とする自主的な組織であります。任意の団体でございまして、行政の指示による活動組織ではございません。</p> <p>しかし、町民の皆様の利便につながる町からのお知らせなどを、より効果的に行うため、自治会の組織を通じて皆様への周知などをお願いしているところでございます。自治会が行われる事業と町が行う事業と、共通するところを持ち合わせておりますので、相互の協力関係が重要であるというふうに考えております。以上でございます。</p>
議 長	再質問ありますか。8 番圓山議員。
8 番 圓山議員	議場で議員のプライバシー、プライベートな事を言うのは許されない。あの人はどこの誰だとかね、そういうプライバシーな事は許されないっていうのは議場のルールであります。しかしこうした放映 1 1 チャンネルを観てお

8 番 圓山議員	<p>られる方は、みんな大概あれはどこの誰だとかね、みんなそういうふうな見方をされます。そうした中で通告書を書きました。答弁を求めている者、これは三宅町長。嘗ては実際に担当課長って書いていたんです。今回は担当課長は書いていないです。ですから町長に答えていただきたい。ようは私が聞きたいのは伝統芸能に対して、いろんなところからお金が流れています。ただ政教分離、交付金を直接、伝統芸能に使う事は出来ない。故にやはりいろんな迂回路を通して出しているものです。神楽、川本町の場合はね神楽、江川太鼓、それに対する助成っていうのは、直接、町が助成をしていないはずですね。それはやはり政教分離、信教の自由、いろんなところからかなって思うのですが、それをもうひとつ聞きたい。それで要は神楽は宗教行事ではない、これはもう伝統芸能といってきれいに線を引っ張って、それに対して金を動かす。ようはその線はどこにあるか。というと、何年か前はきれいに答弁をいただきましたがね、その辺を明確に仰っていただきたい。故にこれは伝統芸能であるから、これに関しては観光協会から支援しますとかね、という事がない。それからもう一点は、町の中にある伝統芸能開いて見ましたが、神楽と江川太鼓だけですかね。もっと他に有るような気がします、その辺も重ねてお聞きします。</p>
議 長	<p>番外森川総務財政課長。</p>
番外森川総 務財政課長	<p>ご質問のございました伝統芸能、その中でも議員が仰った神楽とか江川太鼓ですね、そういう団体ですね町の方から特別に支援という形のものを出しておる状況ではございません。ただですね、祭りのイベントなんかで、そこへ出演していただいた時の謝礼という形で、お出しする事は、実行委員会の中からはあろうかと思えます。そういった中での支出は太鼓も神楽もあろうかと思えます。それで町の中にある伝統芸能の神楽、江川太鼓、或いは田植囃子、そういったものも伝統芸能の中に入るんじゃないかと思えますけれども、そういったものが伝統芸能として町の中にあるものというふうに認識しております。以上でございます。</p>
議 長	<p>再質問ありますか。8 番圓山議員。</p>
8 番 圓山議員	<p>町のページ（ホームページの意）の見方は定かでないんだろうと思いますけど、載っていたのは石見神楽と江川太鼓、この2つの写真がありました。もっと他にあると思うのですが、それはどういう恰好で伝統芸能ではなくて、郷土芸能っていう感じで載ってくるんですかね。掲載されているんでしょうか。実際に三原の田植囃子も、あれは補助金が出てますよね。太鼓買ったり衣装を買ったりされています。ですから伝統芸能、郷土芸能、言葉はやっぱり違いますから、どこかで線が引いてあるんでしょうかね。いずれもその事に対してとやかくいうつもりはありませんが、伝統芸能の一覧、郷土芸能の一覧</p>

8 番 圓山議員	<p>っているのが、町のホームページで見ることができれば、有り難いなと思っています。ひとつは、もう 1 つの次に進みますけれども、要は自治会の関与、やっぱり自治会の皆さん方がいろんな意味で応援して、盛り上がって手伝ってやっていこう、残していこうっていうふうにやっておられる訳であります。その自治会費の中にね、今、自治会は任意の団体だと仰いましたので、あれですけども、自治会によって自治会費がバラバラです。おそらくうちらは一番高いと思いますね、800 円。隣の自治会は 400 円。それは何が違うっていったら、その中に寄附金が入っていないはず。寄附金っていうのは赤い羽根とか、あと何があるんですかね、町内へ払う寄附金がある。そういうものが包括されている。それで時には、祭りの祭典費が入っていたり、それも一律に回ってきたりというものもある。うちは祭りの祭典費は来ませんけどね、決まりの赤い羽根とかそういう物を包括した自治会費。それで結局、寄附金を含んだ自治会費というのは、どこかで問題がある。自治会に入っていない方、これは要らないんです。自治会費も払いませんし、赤い羽根等々も払わない。これは自治会の事です。町は関係ないと仰れば、それはそれで答えでしょうけども、本当にそれで赤い羽根の募金であるとか、どこか引がかかるような気がするんですけども。はい、お願いします。</p>
議 長	<p>番外森川総務財政課長。</p>
番外森川総 務財政課長	<p>町の方から議員、仰いましたとおり赤い羽根の、まあ町と言いますか、これは社会福祉協議会の方からになるかと思えますけれども、それが自治会の皆さんの組織を通じて、そうした共同募金とか、或いは赤十字のものとか、実行委員会で申しますと夏祭りの寄付とかですね、そういったものも自治会の組織を通じてお願いをしているところでございます。共同募金につきましては、共同募金会というところが通じて募金をしても良いというようなところもありますけれども、その中には自治会を通じてという事は謳われてないものですので、本来はどう言いますか、個々にお回りさせていただくのが本来ではありますけれども、皆さんにはその辺の主旨をご理解いただいて、ご協力をいただいているというところが現状ではないかと思えます。それで、お話の中にございました自治会費の中に祭典費が含まれて徴収をされているというような事も、ご質問の中にございましたけれども、それについては各自治会で対応されている事でございますので、なかなか町の方でどのような形で先ほどの寄附金も合わせまして徴収をされているかというのを把握しておりませんので、それをどうこうと町の方から言う事はなかなか難しい事ではないかなというふうに考えております。以上でございます。</p>
議 長	<p>圓山議員、伝統芸能と行政のかかわりあいの中に、ちょっと私は分からないんですけども、寄附金であるとか祭典費であるとか、ちょっと関係無いように思いますので、出来れば軌道修正をお願い致します。</p>

議 長

はい、8 番圓山議員。

8 番
圓山議員

自治会の関与の中に、当然そういう事も包含されていますので。それで敢えて聞いている訳ですが。ただそれは自治会というものはあくまでも任意の団体であって町は関係ないと。それはそれでひとつの答えです。はい。

それでただ、ひとつの答えですから、それは良いですけども、そうした或る意味で自治会長会を自治会長をみんな集めてね、自治会長会っていうのを役場の中で行われる。そして更にはその中でいろんな事を話しをされる。自治会長は自分の所へ帰って来て反対に私に聞かれるんですけどもね。町議会には知らない事がずいぶんある。そうすると任意の団体の自治会長にいろんな話しをして情報を公開して物事を前に進める、っていう事もある。問題の指針に外れておりますが、関係するんじゃないかと思いますが、如何でしょうか。それでそういう自治会長を集める機会があればね、その中でそういう事も質^{ただ}すチャンスもあろうかと思えます。今の自治会が祭典費を集めるとか、実際にうちは800円、隣は400円。この違いはそこにあるんですよ。実際に集金に歩かれますとね、うちは寄付は拒否しますと。自治会に入っていないから自治会費は要りません。何軒もあります。そうするとこの違いは同じ町民でありながら、この違いっていうのは何処かで歪みとして出てくると思えます。そういう意味で自治会というものは任意の団体であると言いながら、誰かがものを言わないと収まらない、という事になれば何らかの機会で、自治会長会で集まる機会があれば小言とは言いません。こういうふうにやっぱりクレームは言っておいていただきたい。自治会の自治会費を払っている町民と払っていない町民の差ですね、同じ町民ですから。税金を払っている。その辺をひとつ関係している自治会を通して、町の方から苦言を呈していただければ有り難いというふうに思っております。それで伝統芸能でございますが、今、言ったように伝統芸能と郷土芸能、これは一目で分かるものが欲しい。それで伝統芸能と郷土芸能の違いが僕は分からない。それで町のホームページを開きますと江川太鼓と石見神楽、これは載っていました。伝統芸能として載っていました。以上です。終わります。

議 長

答弁、要りませんか。
（「要りません」の声あり）

々

これを持ちまして、圓山議員の一般質問を終了します。

々

以上をもって、本日の議事日程はすべて終了致しました。
お疲れ様でした。

（午後3時25分）

この会議録は、川本町議会事務局長 櫻 本 博 志 が記載したもので、その内容
において、正確である旨を証するためここに署名をする。

川本町議会議長

川本町議会議員

川本町議会議員